

## 夢の幸田牛

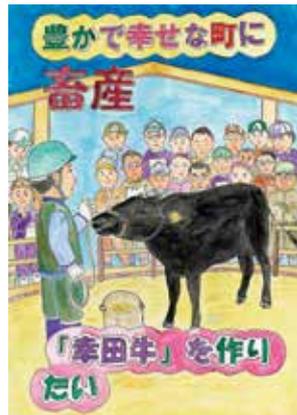
中央小学校6年  
いとう りき  
伊藤 俐輝さん



ぼくは町長になったら、「幸田牛」を作りたいです。以前旅行にいったとき、石垣牛や松坂牛に感動し、また行って食べたいと思いました。だから、おいしい幸田牛があればそれを食べたい人がたくさん幸田町へ来てくれると思います。

そのために、幸田町に牛の牧場を作り、黒毛和牛を育てられるようにしたいです。そしてその牛肉で、幸田牛串焼きと肉まんとメンチカツとにぎり寿司を作って宣伝し、広く幸田町を知ってほしいです。

幸田町が多くのの人に楽しんでもらえる観光地となり、さらに豊かで幸せな町になってほしいと思います。



## 誇りの町、幸田町

幸田小学校6年  
こじま ゆう  
小嶋 佑さん



幸田町は、楽しいことがたくさんある素敵な町です。例えば、公園がたくさんあったり、ハッピーネス・ヒル・幸田のような、だれでも使えたり、楽しめたりする施設があります。登下校中に公園を利用している地域の方々を見かけると、幸田町の元気さを感じます。そして、その元気から生まれる笑顔がたくさんあることも、幸田町の魅力の一つだと思います。ぼくはそんな幸田町のことを誇りに思っています。これからもこの幸田町のよさがずっと続いていくように、地域の方々にあいさつをしたり、地域の行事に積極的に参加したりしていきたいです。



## 色あせない記憶 幸田の風景



北部中学校3年  
はしの さな  
橋野 紗菜さん

私は坂崎保育園児の頃、よく里山に登っていました。里山から見る景色は自然豊かで、心がリフレッシュされたのを覚えています。季節によって見える景色が変わり、豊かな四季の移ろいを感じることができました。あの頃から数年たった今でも変わりなく美しく保

たれているのは、里山を見守り整備して下さる地域の方々のおかげだと思います。

幸田町は里山だけでなく、通学路の清掃や見守り隊、温かい挨拶など、美しい環境と人々の思いやりが魅力です。私もこの幸田町民の一員として、何かできることはないか考え、身近なことから始めていきたいです。

